

令和4年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホーム

【総合的な目標の総括】

令和5年1月、定員50名中49名がコロナ感染し、2名の方がお亡くなりなられた。このことは法人として、今後、忘れてはならない事態であった。感染に対する怖さはもちろん、蔓延防止対策や発症してからケア、関わる職員に対する心理的サポート等、多くのことを学ぶ機会となった。

一方で、年間を通じて入居者のこれまでの暮らしが施設で少しでも継続できるよう、生活歴や嗜好、家族関係等を聴き取る機会を設け、関係職種で共有し、ケアに反映できるよう心がけた。

また、今年度は、お亡くなりなられた方は全て、この施設で最後までお見送りをすることができた。看取り介護期において、コロナ禍でも嘱託医、家族、施設の関係職種と連携を図り、その都度話をする機会を設け、利用者・家族の意向を尊重し最期まで地域で生活できる支援ができたと考える。入居者と家族の面会は、県内の感染症の状況に応じて面会制限を一部解除し、少人数での面会を出来るようにした。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

行事や外出支援がコロナ禍により、思うように実施できない状態が続いたが、感染症対策をしながら、少しでも利用者の方や職員が笑顔になり楽しくなれる様に、3名以上でも面会出来るように、屋外に面会スペースを作り活用できた。

入居者の骨折が前年度は5名に対して今年度は骨折での入院は1名だった。低床ベッドの導入により転倒を未然に防ぐことができた。また、これまでは対策が遅れる事もあったが事故防止委員会が中心となり、その日のうちにカンファレンスを開催し対策を検討するようにした。しかし、まだまだ職員のリスクに対する意識や介護技術について個人差がある。キャリアや資格に捉われず、日々声を掛け合い、互いに質の向上を目指していく。

人材確保に関しては既存特養の介護職の離職率は8.6%と前年より5%の改善が見られた。職員とのコミュニケーションを大切にした。介護リーダーを対象とした定例ミーティングを行い各部署の状況の共有を行い、より良い職場環境になるよう努めることができた。

【収益的活動】

多床室の年間ベッド稼働率は98.7%で当初目標を0.3%下回り、予算達成比率100.4%だった。入所施設における看取り介護加算については、嘱託医・看護職等の関係職種との連携を図り、算定100%（死亡退所者17人中15人算定、入院先で死亡の方含まず）と高い算定率だった。

【支出的活動】

ハグ（移乗サポートロボット）を導入し、ノーリフト（持ち上げない介護）を少しずつ浸透させ、介護者・入居者共に身体負担軽減の一役を担った。また、入居者のできる能力の維持を図る為、多様な支援ができるように、個々の状態に応じた福祉用具を導入した。今後も継続して、必要なロボットの導入、技術の向上を図り、完全ノーリフトを目指していく。

眠りスキンの導入により生活のリズムの改善や健康状態の把握、支援内容の見直しなど根拠に基づいた支援を実施できた。

【地域貢献活動】

介護サポーターの方々に職員のサポートをお願いし、シーツ交換・掃除など5名の方に就業してもらった。そのことによりコロナ禍であっても施設内の状況が地域に対してオープンになり風通しの良い環境が作れたのではないかなと思う。

令和4年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホーム

延べ利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	297	590	594	1,481
5月	0	0	297	620	627	1,544
6月	0	0	248	616	596	1,460
7月	0	0	248	647	645	1,540
8月	0	0	248	651	651	1,550
9月	0	0	240	624	630	1,494
10月	0	0	260	617	651	1,528
11月	0	0	240	600	645	1,485
12月	0	0	279	638	626	1,543
1月	0	0	279	620	628	1,527
2月	0	0	270	532	577	1,379
3月	0	0	268	570	656	1,494
合計	0	0	3,174	7,325	7,526	18,025

実利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	11	21	20	52
5月	0	0	10	20	21	51
6月	0	0	9	21	22	52
7月	0	0	8	21	21	50
8月	0	0	8	21	21	50
9月	0	0	8	21	21	50
10月	0	0	9	21	21	51
11月	0	0	8	20	23	51
12月	0	0	9	21	21	51
1月	0	0	9	20	21	50
2月	0	0	11	19	22	52
3月	0	0	10	21	23	54
合計	0	0	110	247	257	614

令和4年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	1 6 15 22 26 30	入職式・辞令交付式 開園記念日 から芋植え	SDGs勉強会 職員研修会 1ヶ月間、新入職員研修実施(講義・各事業所での実習)	外国人技能実習生説明会	
5	14 16~17 17 18 23~24 25	法要法話	職員研修会	全国高齢者ケア 痰吸引等実施のための研修 外国人技ミーティング 痰吸引等実施のための研修	加来先生
6	8 13 15 17 22 26	外国人介護人材初回内定者面談	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 SDGs勉強会 職員研修会	県老施協 理事長・施設長研修会 県老施協 スキルアップ研修会	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
7	4 12~15 13 19 20 23・24 25 26	陵南幼稚園 来園 法要法話	職員研修会	痰吸引等実施のための研修 認知症介護実践リーダー研修 県老施協 人材育成研修会 認知症介護実践リーダー研修 第4回日本在宅医療連合学会大会 外国人技ミーティング	陵南幼稚園児 加来先生
8	2 8~12 9 9~10 18 25 30	鹿児島国際大学(教職員課程)3年生介護等体験 職員健康診断 そま植え	ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	痰吸引等実施のための研修(学科試験) ファーストステップ研修 県老施協 認知症・精神疾患研修会 認知症介護実践リーダー研修	鹿児島国際大学3年生 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
9	7~8 12 17 21 26	敬老祝賀会 法要法話	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	ファーストステップ研修 県老施協 看取り研修会	加来先生
10	3~5 11 12 14 17 20 21 25 26 18・20・26	多床室グループ運動会 特養あずま屋棟上げ 陵南小学校2年生職場見学	ケアマネスーパービジョン研修 SDGs勉強会 職員研修会 県老施協 メンタルヘルス・高齢者虐待研修 フラワーホーム男子会	ファーストステップ研修 痰吸引等実施のための研修 霧島市身寄りガイドライン策定委員会	陵南小学校2年生 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
11	1~2 16 22 25		職員研修会	ファーストステップ研修 県老施協 リスクリスク&クライシスマネジメント研修会 かごしま介護技能コンテスト2022	

令和4年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホーム

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
12	5~6 8 12 14 22 26	そま落とし	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパージョン研修 職員研修会	ファーストステップ研修 老施設 栄養・睡眠支援と皮膚トラブルの予防研修	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
1		コロナ感染症の感染拡大に伴い、行事・研修等の実績なし			
2	7 8 14 16 21 24 28	夜勤者健康診断	ケアマネスーパージョン研修 職員研修会	痰吸引等実施のための研修 身寄りガイドラインシンポジウム 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
3	7 14 14・15 20 22 24	法要法話	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修	加来先生

*毎月、IDOオンラインセミナー法定研修・階層別研修受講

*1月職員研修会 ⇒ 多床室での感染症拡大のため実施できず。

令和 4 年度 統計資料及び添付資料

<1> 利用者の出身市町村別、年齢別の状況(令和 5 年 3 月 31 日現在の住所地) n=50

住所 地	年齢	性別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男			2	1	3		1	3		10	32
	女			2		2	4	8	5	1	22	
国分	女							2	1		3	3
隼人町	男					1					1	8
	女						1	1	5		7	
横川町	女						1	1		1	3	3
牧園町	女									1	1	1
始良市	男							1			1	3
	女								1	1	2	
計				4	1	6	6	14	15	4	50	
平均年齢					最高年齢					最少年齢		
87.4 歳					109 歳					70 歳		
男性(平均)		女性(平均)			男性(最高)		女性(最高)		男性(最少)		女性(最少)	
84.2 歳		90.6 歳			96 歳		109 歳		70 歳		71 歳	

<2> 施設利用状況

事業所名		フラワーホーム		
月	日数(日)	日数×50 名	入居延べ数	稼働率
4 月	30	1,500	1,481	98.7%
5 月	31	1,550	1,543	99.5%
6 月	30	1,500	1,459	97.2%
7 月	31	1,550	1,540	99.3%
8 月	31	1,550	1,550	100.0%
9 月	30	1,500	1,494	99.6%
10 月	31	1,550	1,528	98.5%
11 月	30	1,500	1,485	99.9%
12 月	31	1,550	1,543	99.5%
1 月	31	1,550	1,527	98.5%
2 月	28	1,400	1,379	98.5%
3 月	31	1,550	1,495	96.4%
合計	365	18,250	18,024	98.7%

* 小数第 2 位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和5年3月31日現在) n=50

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	0	0	1	7	3	11	4.18
女	0	0	9	11	19	39	4.26
計	0	0	10	18	22	50	4.22

<4>退所状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
フラワーホーム	87歳	女性	令和4年4月7日	死亡
	87歳	女性	令和4年4月12日	死亡
	101歳	女性	令和4年5月18日	死亡
	97歳	女性	令和5年5月30日	死亡
	98歳	女性	令和4年6月8日	死亡
	94歳	男性	令和4年6月9日	死亡
	95歳	女性	令和4年6月22日	死亡
	85歳	女性	令和4年10月4日	死亡
	79歳	女性	令和4年11月6日	死亡
	84歳	女性	令和5年1月15日	死亡
	91歳	女性	令和5年1月24日	死亡
	88歳	女性	令和5年1月31日	死亡
	92歳	女性	令和5年2月14日	死亡
	95歳	男性	令和5年2月15日	死亡
	102歳	女性	令和5年3月13日	死亡
	96歳	女性	令和5年3月14日	死亡
	93歳	男性	令和5年3月20日	死亡
【退所状況 集計】				
	退所者数		看取り介護数	施設看取り率
フラワーホーム	17名		15名	88%

<5>事故の状況

(種別)

転倒	転落・滑り落ち	服薬ミス	皮膚剥離	骨折・外傷	異食	その他
10	15	2	32	1	0	19

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
28	35	10	1	5	0	0

(発生時間帯)

深夜 0:00~4:00	早朝 4:00~8:00	午前 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
5	18	23	15	13	5

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
90 歳 女性 (多床室)	下肢裂傷	介護職 2 名で特浴のストレッチャーから車椅子へ移乗した際、車いすのフットレストは開放していたが取り外しなかった為、左下腿に 10 cm 程の皮膚剥離をした。直ぐに徳永医院受診し 9 針縫合。保健者に連絡。
98 歳 女性 (多床室)	転倒	家に帰るなどの訴えあり車いす自走にて行動されていた。廊下にて車いすより滑落し後頭部より出血があった。後頭部 3 cm 程の裂傷は処置を行った。嘱託医に報告し診察。保険者に連絡。
97 歳 女性 (多床室)	打撲	朝食前、本人より右大腿部の痛みあり。昨日の昼間、排泄後、ベッドに移る際に柵で打った。と本人はなされる。熱感・打撲痕なし。痛みある為、大井病院受診し CT 検査し異常なし。保険者に連絡。
95 歳 女性 (多床室)	転落	夜勤中、コール鳴り駆けつけるが、ベッド横に設置していた PWC の横の左側臥位で倒れているところを発見。左側頭部と右肩・上肢・左下肢の痛みあり加治木整形外科受診し左大腿骨頸部骨折と診断される。保険者に連絡。

<6> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
入居者家族 (苦情)	入居者家族の長女より連絡があった。「実は昨日、母から電話がきて、昨晚ある職員の言葉かけなのか？ケアの仕方なのか？詳しくはわかりませんが、その言動に対して、自分が黙って我慢していればいいことだから…」と職員の対応についての不満を聞いたとの事。 相談員より、お母様に不快な思いをさせたこと、ご心配おかけしたことを謝罪した。 対応した職員への聴き取り、入居者への内容確認をして、後日状況報告することをお伝えした。	相談員から対応した職員に聴き取りを行った。対応した職員曰く、「コールが重なったタイミングだったので、“順番にしますから待っていてください”と伝えた」とのことだった。 並行して、入居者への内容確認を行った。「トイレに行きたくてベルを押すと、“順番だから待って”とズケズケ言われた。命令のような、自分本位の人だと感じた。」とのことだった。 対応した職員は、威圧的な態度をとった自覚はなかったが、不快な思いをさせたことを相談員立ち合いの下、入居者に謝罪した。 上記内容と改善・再発防止策について長女へ報告した。「早速、早い対応、本当にありがとうございます。母も安心したと思います。」と話された。
入居者家族 (苦情)	当該入居者家族の次女より、担当ケアマネに連絡あった。 昨日面会に来た時に、本人が「寒い」と言っていたので、確認すると夏ズボンを履いていた。「ここに持ってきている洋服の種類や数は全部把握しているので、週 2 回の入浴と失禁で週 3 回着替えたとしても足りると思うのですが…。」「もし、足りなかったら言ってくれたら持ってきます。一度、本人の荷物を全部チェックさせてほしい。」との事	適切な支援・対応ができていなかったことのお詫びをして、本件に関して、事実確認をしてから改めて連絡することを次女に伝えた。 居室担当介護職、関係職種を交えて、事実確認、家族からの申し出等を共有し、今後の対策について協議した。 衣類の管理・衣替え等について担当介護職に対し、指導不足もあり、居室担当としての業務を行えてなかった。担当介護職とリーダー等と一緒に衣類整理、衣替え等を行った。 当該職員に対しては、家族からの伝達事項の上司への報告等について指導した。 次女に連絡をして、上記検討事項を伝え、改めてお詫びした。 「そんなにしてくれると本当に助かります。色々配慮いただきありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。」と話された。 後日、次女が来園した際、本人の衣類・荷物等を職員立ち合いの下、確認してもらった。

<7>職員数

(令和5年3月31日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	介護支援専門員	機能訓練指導員	障害者支援員	管理栄養士	歯科衛生士	総務
1	5	1	28 (12)	5	3	1	1	1	2 (1)	5 (5)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 28 名中「介護福祉士」有資格者 16 名

* 看護職員 4 名中「看護師」1 名「准看護師」3 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務等に従事。総務 5 名中 2 名は障害者雇用

<8>入職者数

職種 \ 年代	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	1	1	1	2			5
(うち介護福祉士)	(1)	()	()	(1)	()	()	(2)
看護職員							0
計	1	1	1	2			5

<9>退職者数

性別／年代	在職期間	職種
男性 30 代前半	5 年 1 ヶ月	介護職(正社員)
男性 30 代前半	14 年	介護職(正社員)

* 介護職員の令和4年度離職率 8.6% (令和4年4月1日在職者 23 人を分母)

令和4年度 事業報告

介護老人福祉施設 フラワーホームユニット

【総合的な目標の総括】

令和4年度、フラワーホームユニットを退所された方は、9名だった。9名の内訳は、ユニットで最期を迎えられた方が5名、医療機関長期入院加療の方が1名、多床室へ転居(家族希望)された方が3名だった。入居者一人一人と向き合い、安心できる暮らしの場所を提供し、穏やかで自然な最期を迎えられるよう支援することができた。

コロナ禍に伴い、入居者と家族が会える機会が少なかったが、感染症流行状況を見ながら、可能な限り家族と会える機会を設けたり、オンラインでの面会を実施したりすることで家族との関係性を大切にすることができた。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

特殊浴槽での入浴支援時や移乗時等、福祉用具を活用したノーリフト(持ち上げない介護)を継続的に実践することができた。また、行事や外出支援がコロナ禍により、思うように実施できず、制限された状態が続いた。そのような状況下であったが、感染症対策を講じ、少しでも個別に対応することにより、できることを模索して、支援することができた。一方で、介護職による入居者に対しての不適切は言動により、懲戒処分となる事案もあり、入居者の尊厳を損なうことになってしまったこともあった。

食欲が低下した入居者へ好みの食べ物を提供したり、嗜好に合わせた個別の食べ物を提供したりするなどの柔軟な対応ができた。

職員教育については、県老協テーマ別研修会、ファーストステップ研修、認知症介護実践者研修、認知症介護実践リーダー研修等の研修を自発的に受講する姿勢があり、知識と技術の向上を図ることができた。また、IDO オンラインセミナーを導入し、毎月の法定研修受講や個々で選択した階層別の研修受講により、介護に必要なスキルと職場環境での適応を図り、専門職としての基礎を構築する思考特性と行動特性を身に着けるきっかけを構築できた。オンラインセミナーにおいては、他事業所の方々と共に学んだり、課題や悩みを共有したりすることで自法人や自分自身の取り組みや支援等を振り返る機会にもなった。

施設長とユニットリーダーによる1on1ミーティングを通じ、個人・ユニットの目標設定、課題、具体的行動目標等を共有し、振り返ることでリーダーの心理的安全性を高め、互いの信頼関係の構築にもつながった

人材確保に関してはユニットの介護職の数は、常勤換算で13.4だった。フラワーホームユニットの令和4年度の介護職離職者は常勤換算で2.0だった。

【収益的活動】

年間ベッド稼働率は99.3%で当初目標を0.3%上回り、予算達成比率101.7%だった。

入所施設における看取り介護加算については、嘱託医・看護職等の関係職種との連携を図り、算定率60%(死亡退所者5人中3人算定)の算定率だった。これまで継続的に算定できていた加算のうち、夜勤職員配置加算においては、月によっては介護職の欠員に伴い、算定できない月もあった。その他の加算については、各専門職(介護福祉士・看護職・管理栄養士・機能訓練指導員・歯科衛生士等)の配置・取り組みにより継続して算定することができ、収入に結び付けられた。

【支出的活動】

Hug(移乗サポートロボット)の継続的な導入・活用や床走行式リフトの導入により、ノーリフト(持ち上げない介護)を実践し、介護者・入居者共に身体負担軽減の一役を担った。

【地域貢献活動】

介護サポーターとして、有償で地域の方に介護職員のサポート業務をお願いし、就業してもらった。ユニットでの就労は1名で清掃やシーツ交換等に従事してもらい、介護職が専門的な業務に従事ができる環境を作ることができた。

令和4年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

延べ利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	90	378	423	891
5月	0	0	93	402	434	929
6月	0	0	90	390	420	900
7月	0	0	93	403	434	930
8月	0	0	93	387	439	919
9月	0	0	90	378	420	888
10月	0	0	93	403	434	930
11月	0	0	90	390	391	871
12月	0	0	93	430	400	923
1月	0	31	93	403	397	924
2月	0	28	75	373	364	840
3月	0	31	31	340	527	929
合計	0	90	1,024	4,677	5,083	10,874

実利用者数

単位：人

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	0	0	3	13	15	31
5月	0	0	3	13	14	30
6月	0	0	3	13	14	30
7月	0	0	3	13	14	30
8月	0	0	3	13	15	31
9月	0	0	3	13	14	30
10月	0	0	3	13	14	30
11月	0	0	3	13	15	31
12月	0	0	3	14	13	30
1月	0	1	3	13	13	30
2月	0	1	3	14	13	31
3月	0	1	1	11	18	31
合計	0	3	34	156	172	365

令和4年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	1 6 15 22 26 30	入職式・辞令交付式 開園記念日 から芋植え	SDGs勉強会 職員研修会 1ヶ月間、新入職員研修実施(講義・各事業所での実習)	外国人技能実習生説明会	
5	14 16~17 17 18 23~24 25	法要法話	職員研修会	全国高齢者ケア 痰吸引等実施のための研修 外国人技ミーティング 痰吸引等実施のための研修	加来先生
6	8 13 15 17 22 26	外国人介護人材初回内定者面談	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 SDGs勉強会 職員研修会	県老施協 理事長・施設長研修会 県老施協 スキルアップ研修会	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
7	4 12~15 13 19 20 23・24 25 26	陵南幼稚園 来園 法要法話	職員研修会	痰吸引等実施のための研修 認知症介護実践リーダー研修 県老施協 人材育成研修会 認知症介護実践リーダー研修 第4回日本在宅医療連合学会大会 外国人技ミーティング	陵南幼稚園児 加来先生
8	2 8~12 9 9~10 18 25 30	鹿児島国際大学(教職員課程)3年生介護等体験 職員健康診断 そま植え	ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	痰吸引等実施のための研修(学科試験) ファーストステップ研修 県老施協 認知症・精神疾患研修会 認知症介護実践リーダー研修	鹿児島国際大学3年生 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
9	7~8 12 17 21 26	敬老祝賀会 法要法話	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	ファーストステップ研修 県老施協 看取り研修会	加来先生
10	3~5 11 12 14 17 20 21 25 26 18・20・26	多床室グループ運動会 特養あずま屋棟上げ 陵南小学校2年生職場見学	ケアマネスーパービジョン研修 SDGs勉強会 職員研修会 県老施協 メンタルヘルス・高齢者虐待研修 フラワーホーム男子会	ファーストステップ研修 痰吸引等実施のための研修 霧島市身寄りガイドライン策定委員会	陵南小学校2年生 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
11	1~2 16 22 25		職員研修会	ファーストステップ研修 県老施協 リスクリスク&クライシスマネジメント研修会 かごしま介護技能コンテスト2022	

令和4年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームユニット

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
12	5~6 8 12 14 22 26	そま落とし	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパージョン研修 職員研修会	ファーストステップ研修 老施協 栄養・睡眠支援と皮膚トラブルの予防研修	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
1		コロナ感染症の感染拡大に伴い、行事・研修等の実績なし			
2	7 8 14 16 21 24 28	夜勤者健康診断	ケアマネスーパージョン研修 職員研修会	痰吸引等実施のための研修 身寄りガイドラインシンポジウム 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
3	7 14 14・15 20 22 24	法要法話	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修	加来先生

*毎月、IDOオンラインセミナー法定研修・階層別研修受講

*1月職員研修会 ⇒ 多床室での感染症拡大のため実施できず。

令和4年度 事業報告

フラワーホームショートステイ

【総合的な目標の総括】

4月から新体制になり、ショートステイの環境や変化を求めて新しいサービスを導入した。ショートステイカフェの定期的な開催、紅葉巡りやお花見等の屋外活動を利用者同士の交流はもちろん、職員も一緒に楽しめる環境を作った。今後もレクリエーション活動が充実したショートステイを目指し、他事業所との差別化を図る。また、健康増進・心身の活性化につながるよう、機器の充実を図り、余暇活動のツール不足の改善を図っていききたい。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

昨年度は3度のコロナ感染があり、ゾーニング対応で蔓延防止、重症化予防を行った。入退所を制限する中、独居の方や在宅生活が困難な方に対しては、在宅部門の事業所同士で連携を図り、個別に対応することができた。

職員教育については、IDO オンラインセミナーや県老協主催の研修会を始めとする外部研修をオンラインで受講した。研修を通して専門性の高い知識が得られ、日々の実践からは得られない学びや気づきがあった。

人材確保については、ショートステイ介護職の数を常勤換算で確保できたが、同時に新入職員の教育の難しさを感じた。教育システム、受け入れ体制を再度見直す必要があると考える。

【収益的活動】

年度初めに外部居宅・包括・社協など各事業所への訪問、営業を行った。その後、数件の新規利用者のご紹介を頂いた。そのような状況もあり年間ベッド稼働率は92.7%、当初目標を2.7%上回ることができた。新規利用者のリピート率が65%であった。しかし、一方で長期利用されていた方の特養や他施設への入居が重なり、2月からの稼働率が低下した。入所等による退所者が発生した際に、一定の稼働率が継続できるよう法人内の連携はもちろん、外部機関との連携強化が必要である

【支出的活動】

夜間のストロングパット使用により、オムツ交換回数、おむつ使用量の見直しができた。また、眠りスキャンの導入で夜間の訪室時間や朝のパッド交換のタイミングを見計らうことができ、事故防止と利用者の安眠に繋がった。

【地域貢献活動】

台風、積雪などの災害時やコロナ感染症等により、ご自宅で過ごすことが不安な方やリスクが予想される方に対して、積極的に受け入れを行った。今後も住み慣れた地域で安心して過ごせるよう、緊急時に柔軟に受け入れを行っていききたい。

令和4年度 月別介護度別利用実績一覧表

特別養護老人ホームフラワーホームショートステイ

延べ利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	7	0	93	94	121	118	125	558
5月	3	0	72	113	103	106	171	568
6月	2	0	82	109	102	114	119	528
7月	2	4	96	156	95	147	99	599
8月	8	0	145	101	49	175	58	536
9月	4	5	134	125	129	162	51	610
10月	0	0	122	147	123	163	54	609
11月	0	0	81	172	128	155	50	586
12月	0	0	64	164	103	170	86	587
1月	7	4	68	157	96	175	78	585
2月	0	0	62	123	137	96	63	481
3月	0	4	85	120	110	114	64	497
合計	33	17	1,104	1,581	1,296	1,695	1,018	6,744

実利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	1	0	8	6	7	7	7	36
5月	1	0	6	9	7	8	8	39
6月	1	0	7	8	7	8	7	38
7月	1	2	6	11	7	9	6	42
8月	1	0	8	7	5	6	4	31
9月	1	2	11	13	8	7	3	45
10月	0	0	8	10	8	8	3	37
11月	0	0	8	13	9	7	4	41
12月	0	0	7	14	7	8	5	41
1月	2	1	8	12	8	8	7	46
2月	0	0	6	8	9	6	4	33
3月	0	1	9	9	10	6	5	40
合計	8	6	92	120	92	88	63	469

令和4年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームショートステイ

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	1 2 6 15 22 26 30	入職式・辞令交付式 花見昼食会 開園記念日 から芋植え	SDGs勉強会 職員研修会 1ヶ月間、新入職員研修実施(講義・各事業所での実習)	外国人技能実習生説明会	
5	14 16~17 17 18 23~24 25	法要法話	職員研修会	全国高齢者ケア 痰吸引等実施のための研修 外国人技ミーティング 痰吸引等実施のための研修	加来先生
6	8 13 15 17 21 22 26	外国人介護人材初回内定者面談 ショートステイカフェ	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 SDGs勉強会 職員研修会	県老施協 理事長・施設長研修会 県老施協 スキルアップ研修会	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
7	4 12~15 13 19 20 23・24 25 26	陵南幼稚園 来園 法要法話	職員研修会	痰吸引等実施のための研修 認知症介護実践リーダー研修 県老施協 人材育成研修会 認知症介護実践リーダー研修 第4回日本在宅医療連合学会大会 外国人技ミーティング	陵南幼稚園児 加来先生
8	2 8~12 9 9~10 18 25 30	鹿児島国際大学(教職員課程)3年生介護等体験 職員健康診断 そま植え	ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	痰吸引等実施のための研修(学科試験) ファーストステップ研修 県老施協 認知症・精神疾患研修会 認知症介護実践リーダー研修	鹿児島国際大学3年生 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
9	1 7~8 12 17 21 26	そうめん流し 敬老祝賀会 法要法話	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	ファーストステップ研修 県老施協 看取り研修会	加来先生
10	3~5 11 12 14 17 20 21 25 26 18・20・26	多床室グループ運動会 特養あずま屋棟上げ ショートステイカフェ 陵南小学校2年生職場見学	ケアマネスーパービジョン研修 SDGs勉強会 職員研修会 県老施協 メンタルヘルス・高齢者虐待研修 フラワーホーム男子会	ファーストステップ研修 痰吸引等実施のための研修 霧島市身寄りガイドライン策定委員会	陵南小学校2年生 宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
11	1~2 8 16 22 25	秋の紅葉巡りツアー	職員研修会	ファーストステップ研修 県老施協 リスクリスク&クライシスマネジメント研修会 かごしま介護技能コンテスト2022	

令和4年度 行事及び研修実績表

特別養護老人ホームフラワーホームショートステイ

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
12	5～6	そま落とし クリスマス会	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	ファーストステップ研修 老施協 栄養・睡眠支援と皮膚トラブルの予防研修	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
	8				
	12				
	14				
	20				
	22				
26					
1		コロナ感染症の感染拡大に伴い、行事・研修等の実績なし			
2	7	夜勤者健康診断	ケアマネスーパービジョン研修 職員研修会	痰吸引等実施のための研修 身寄りガイドラインシンポジウム 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修	宮之原氏(県介護支援専門員協議会)、堀内氏(市包括支援センター)
	8				
	14				
	16				
	21				
	24				
28					
3	7	法要法話 花見・バーベキュー	身体的拘束等適正化・虐待防止委員会 職員研修会	痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修 痰吸引等実施のための研修	加来先生
	14				
	14・15				
	20				
	22				
	24				
29					

*毎月、IDOオンラインセミナー法定研修・階層別研修受講

*1月職員研修会 ⇒ 多床室での感染症拡大のため実施できず。

*龍桜高等学校(医療福祉科・看護科)、加治木看護専門学校実習 ⇒ コロナ感染症の影響で令和4年度受け入れ実績なし(先方から辞退の申し出)

令和4年度 統計資料及び添付資料

フラワーホームショートステイ

<1>施設利用状況

事業所名		フラワーホームショートステイ		
月	日数(日)	日数×20 名	入居延べ数	稼働率
4 月	30	600	558	93%
5 月	31	620	568	91.6%
6 月	30	600	528	88%
7 月	31	620	599	96.6%
8 月	31	620	560	90.3%
9 月	30	600	610	101.6%
10 月	31	620	609	98.2%
11 月	30	600	586	97.6%
12 月	31	620	587	94.6%
1 月	31	620	585	94.3%
2 月	28	560	481	85.8%
3 月	31	620	497	80.1%
合計	365	7300	6768	92.7%

*小数第 2 位以下切り捨て

<2>介護度の状況

(令和 5 年 3 月)

性別	要支援1	要支援2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男	0	0	2	2	4	3	3	14
女	0	1	7	7	6	3	2	26
計	0	1	9	9	10	6	5	40

<3>年齢別状況

(令和 5 年 3 月)

平均年齢		最高年齢		最少年齢	
87.9 歳		97 歳		61 歳	
男性(平均)	女性(平均)	男性(最高)	女性(最高)	男性(最少)	女性(最少)
86.1歳	88.8歳	97 歳	97 歳	75 歳	61 歳

<4>事故の状況

(種別)

転倒	転落・滑り落ち	服薬ミス	皮膚剥離	外傷・打撲	異食	その他
15	6	1	3	1	0	8

(発生場所)

食堂・ホール	居室	浴室	トイレ	廊下	屋外	その他
12	10	0	5	0	4	3

(発生時間帯)

深夜 0:00～4:00	早朝 4:00～8:00	午前 8:00～12:00	午後 12:00～16:00	夕方 16:00～20:00	夜間 20:00～0:00
1	8	13	4	7	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
87 歳 男性	転落 (送迎時)	ショート入所のため、自宅まで迎えに行き、陵南小学校側から事業所に向かっていている走行中(リフト車)、リクライニング車椅子から車内の床に滑り落ちてしまった。論地簡易郵便局前で対向車が向かって来ており、右折しようと思い、ゆっくりブレーキをかけ対向車を待つために一時停止しようした(ショートステイまで 50mほどの場所)。その際、シートベルトをすり抜けて、スイング式車椅子から臀部方向に滑り落ちた。 当該利用者は、臥床時・車椅子座位時も両膝屈曲位(伸展制限あり)。リクライニング式車椅子使用の際も、少し頭部ギャッジアップして、臥床位に近い状態。 意識鮮明。頭部・四肢から出血は確認されなかった。予定通り入所し、改めて看護職、介護職で身体確認行った。後頭部に皮下血種あり。主治医・家族に報告。 主治医の指示で後頭部クーリング、様子観察の指示。保険者報告。 後日、医療センターで CT 撮影。異常なしとのことであった。

<5> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
利用者家族 (苦情)	担当ケアマネから“迎えが来ない”と家族(夫)から電話があった。「もう迎えには来なくていい。金輪際そちらの利用はしません。居宅も変えるつもりだ」との内容。送迎を依頼していた事務所職員に確認すると、迎えに行くことを失念していた。	ケアマネから連絡があった直後、副施設長と相談員が謝罪のため、自宅に向かった。「ケアマネに伝えてありますから。お引き取りください。」と、玄関の扉を閉められ、取り入ってもらえなかった。 翌日、相談役と担当ケアマネが自宅を訪問し、改めてお詫びをした。夫は落ち着いた口調で「やっと利用できたショートステイだったので、とても残念だった」としみじみ話された。
利用者家族 (苦情)	夕食後、間違えて他の利用者の薬を取りそのまま服薬してしまった。次女より「薬を間違えるってそんなことあるのですか？母が間違えたのですか？」 後日、長男から「今後同じことが起きない為の対策をしっかりと欲しい。誤薬の電話を受けた時に下剤を2回飲ませたと言われたが、2回飲む必要があったのか」と言われる。下剤を2回飲ませたと報告した事については、事実確認をしてから報告する事ことを伝え、了承される。	入所時に本人と次女に改めて謝罪を行った。 間違えて他の方の薬を飲ませてしまった事をお詫びし、今後の対策について説明を行った。 長男からの下剤を2回服用したか否かという申し出について、誤薬の電話を掛けた介護職に確認した。「“下剤を2回ではなく、2種類の下剤を飲んだ”と伝えた」と職員談。その旨、次女に説明した。「私は弟にそう伝えたのですが、弟が混乱していたのかもしれないですね」と次女談。
利用者家族 (苦情)	昼食後 38.6℃の発熱あり。夫に電話を掛け「熱があり、咳がひどくなっている。かかりつけ医に受診をお願いできないか」と依頼。一度は病院受診を了承されたが、再び電話があり、自宅ではなく医療機関まで送ってほしいとのことであった。「医療機関までの送迎は出来兼ねる」ことを伝えたところ、「近くに病院があるのになんでわざわざ病院に連れて行かないといけないんだ！コロナ扱いして！」と憤慨されていた。	体調不良時にはかかりつけ医に受診をお願いしていることを改めて説明するが、「言い訳をするな！」「もういい。二度と使わない」とこちらの申し出を全く受け入れる態度・言動ではなかった。 本件について、担当ケアマネに文章で経緯説明を行った。
利用者家族 (相談)	フラワーホームの入所申し込み相談があった家族からの相談。「義母が入居しているサービス付き高齢者住宅(以下、サ高住)の対応や利用料金の支払いのことで(本人の年金だけでは、利用料が払えず、長男夫婦の年金や生活費を支払いの一部に充てている。利用料金の滞納があるものの、“すべて支払わないと退居できないですよ”と言われている)不安を感じている」との相談内容。現在入居しているサ高住を退居したい。理由は、施設経営者が厳しい、怖い。居宅ケアマネとも連絡がつかない。施設と縁を切りたいとのことだった。	改めて後日、家族から詳細を伺うために話をする場を設けた。 家族が心的ストレスや不安を抱えていることから、家族の意向を反映・尊重し、行政とも連携を図りながら、フラワーホームのコアメンバーで協議・検討し、サ高住を退居して、フラワーホームで受け入れることができるよう進めていった。 特養多床室に空きがなかった場合は、ショートステイを利用しながら、特養の空きを待つことも検討。 その後、ショートステイ利用し、2月に特養多床室へ入居となった。

<6>職員数

(令和5年3月31日現在)

施設長	事務員	生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	管理栄養士	歯科衛生士	総務
1	5	1	11 (4)	4	1	1	2 (1)	6 (5)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 11 名中「介護福祉士」有資格者 8 名

* 看護職員 4 名中「看護師」1 名、「准看護師」3 名

* 総務は洗濯、清掃、送迎業務等に従事。総務 5 名中 2 名は障害者雇用

<7>入職者数

年代 職種	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	計
介護職員	0	0	1	2	0	1	4
(うち介護福祉士)	(0)	(0)	(1)	(1)	(0)	(0)	(2)
計	0	0	1	2	0	1	4

<8>退職者数

性別／年代	在職期間	職種
女性 50 代前半	7 年 3 ヶ月	介護職員
女性 40 代前半	0 年 5 ヶ月	介護職員

* 介護職員の令和4年度離職率 20% (令和4年4月1日在職者 10 人を分母)

令和4年度 事業報告

フラワーホームデイサービスセンター

【総合的な目標の総括】

コロナ過でもできる活動を増やすため、3つのプロジェクトを開始。それ以外にもご利用者の得意な事を活かし、多様な活動を行うことができた。ご利用者の困りごとややりたい事を聞き、日々の支援や活動へと繋げた。次年度は、ご利用者が自宅で暮らし続けるために、改めて何が必要で何が求められているのか、アセスメントし、ご利用者の思いを引き出す方法を考える事、もっと意味のある活動を実施する事を行っていきたい。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

ご利用者がデイサービスに参加出来るよう、その方の心身状態に合わせた個別的対応を実施できた。また、コロナ感染時も蔓延防止に配慮し、他事業所と連携を図りながら柔軟に対応した。利用者ケアにおいては「できること、できないこと」から「できそうなこと」を発見し、活動や機能訓練を行なった。バリエーションのある小物作りや、月ごとの貼りえ壁面作り、得意な事を活かした木工作業やしめ縄作りなどを行う中で、本当に楽しそうに取り組まれているご利用者の姿が多くあった。また、終礼ではその日の気づいた事、気になる事を職員間で話し合い、内容によって、居宅やヘルパー、主治医とも連携を図った。介護度5の方でも自宅で暮らし続ける支援が出来る事は私たち職員もとても良い学びとなっている。また、5年ぶりに第三者評価を受審し、自分達の回りの環境や支援者、目の前のご利用者・ご家族に対して何が出来て何が足りないのかを学ぶことができた。

【収益的活動】

新規のご利用者が例年と比較し多かった一年だった。他事業所からの紹介も頂くことができた。また日々の活動内容を広報紙やSNSを通じて発信をした。

【支出的活動】

温熱治療器を購入。ご利用者にはとても喜ばれ、満足度の向上や機能訓練の動機づけの一つになっている。また痛みの緩和や動作改善に繋がっている。

【地域貢献活動】

竹子のふるさと祭りに参加。地域の方々との触れ合いや懐かしい方々との再会、昔を思い出す機会を作ることができた。この機会を通して、地域とのつながりの重要性を感じたが、実際には行動を起こすことはできないかったことは課題である。

令和4年度 月別介護度別利用実績一覧表

フラワーホームデイサービスセンター

延べ利用者数

単位：人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	37	26	54	205	203	90	40	10	665
5月	37	30	59	242	215	108	46	9	746
6月	39	26	50	277	229	100	53	7	781
7月	38	25	54	280	230	113	40	8	788
8月	33	28	49	255	237	120	44	4	770
9月	38	30	50	283	240	98	49	9	797
10月	31	27	62	307	230	105	39	16	817
11月	27	22	71	316	206	114	38	14	808
12月	31	25	71	338	196	112	27	32	832
1月	20	23	57	309	164	87	28	29	717
2月	30	26	63	304	171	85	33	22	734
3月	29	28	79	343	221	107	36	15	858
合計	390	316	719	3459	2542	1239	473	175	9313

実利用者数

単位：人

	総合事業	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	5	8	8	25	23	9	5	2	85
5月	5	9	8	25	24	9	5	2	87
6月	5	7	8	28	26	8	6	1	89
7月	5	7	8	30	28	9	4	1	92
8月	5	8	8	27	26	9	5	1	89
9月	5	8	8	30	28	9	6	1	95
10月	4	8	10	31	29	9	5	2	98
11月	4	7	11	32	26	10	4	3	97
12月	4	7	11	36	28	10	4	3	103
1月	4	7	9	33	25	11	3	3	95
2月	4	7	10	32	27	11	3	2	96
3月	4	7	11	32	26	9	3	1	93
合計	54	90	110	361	316	113	53	22	1119

令和4年度 行事及び研修実績表

フラワーホームデイサービスセンター

月	行事	日	内部研修	外部研修	来園者
4	桜見物(花見) 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (山下)	
5	選択レクリエーション バラ園見学 花苗作り カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (斎藤・山下・片平)	陵南中学校職場体験学習 3年生(3名)
6	選択レクリエーション 七夕飾り作り めだかの家作り カレンダー作成・体重測定	10 27	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (斎藤・日置・山下)	
7	選択レクリエーション ひまわり見学 テーブルやすりがけ カレンダー作成・体重測定	11 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (日置・瀬戸口・有嶋)	龍桜高校医療福祉科1年 介護実習(3名)
8	夏祭り 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (石塚・境田・有嶋・日置)	第三者評価機関訪問調査
9	運動会 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	11 26	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (有嶋・永田・片平・斎藤)	
10	かかし祭り見学 コスモス畑見学 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (有嶋・瀬戸口・山下・境田)	
11	選択レクリエーション 紅葉見学 しめ縄作り カレンダー作成・体重測定	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (仮屋園・山下・瀬戸口)	利用体験1名
12	正月飾り制作活動 忘年会 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	12 27	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (境田・片平・永田)	
1	正月遊び カレンダー作成・体重測定 選択レクリエーション	10 25	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (石塚)	
2	節分豆まき 雛飾り見学 選択レクリエーション カレンダー作成・体重測定	10 24	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (片平・仮屋園)	
3	選択レクリエーション 花見弁当週間 カレンダー作成・体重測定	10 24	ケア会議 職員研修会	IDOオンラインセミナー (永田・仮屋園・山下)	

令和4年度 統計資料及び添付資料

<1> 登録利用者状況

	介護	総合事業(支援含)	計
4月	64	21	85
5月	65	22	87
6月	69	20	89
7月	72	20	92
8月	68	21	89
9月	74	21	95
10月	76	22	98
11月	75	22	97
12月	81	22	103
1月	75	20	95
2月	75	21	96
3月	71	22	93

<2> 曜日別・月別平均利用者数(定員 45 名)

	月	火	水	木	金	土
4月	26	30	22	30	35	30
5月	27	32	21	30	29	33
6月	29	35	24	29	31	34
7月	30	35	24	28	32	33
8月	29	31	24	28	29	31
9月	28	35	24	30	34	33
10月	31	34	26	31	33	33
11月	32	32	28	31	31	34
12月	33	34	27	31	29	32
1月	25	30	26	27	31	27
2月	29	34	25	30	30	37
3月	32	34	28	28	35	35
平均	29	33	25	29	32	33

少数点第一を四捨五入

<3>介護度の状況

(令和3年3月31日現在)

性別	総合	介1	介2	介3	介4	介5	計
男性	5	10	6	2	1	1	25
女性	17	22	20	7	2	0	68
計	22	32	26	9	3	1	93

<4>利用者年代別状況

(令和3年3月31日現在)

60代	70代	80代	90代	100代
1	7	52	33	0

<5>介護度別平均年齢状況

(令和3年3月31日現在)

性別	総合	介1	介2	介3	介4	介5	平均
全体	87	86	87	89	89	91	88
男性	84	86	81	84	79	0	83
女性	88	86	88	91	94	91	90
最高齢 98歳				若年齢 63歳			

<6>要介護認定更新の推移

介護度維持	介護度進行	介護度改善	改善率
39名	13名	2名	3%

*令和4年度、介護保険更新認定 52名の結果

<7>ヒヤリハットの状況

(種別)

注意不足	食数間違い	送迎車	異物混入	利用者の行為
0	1	0	0	0

(発生場所)

ホール	和室	浴室	脱衣場	トイレ	洗面所	送迎中	玄関	屋外	その他
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
0	1	0	0

<8> 事故の状況

(種別)

転倒・転落	外傷	皮膚剥離	打撲	その他
14	0	0	0	0
送迎ミス	離設			
1	2			

(発生場所)

食堂ホール	浴室	脱衣場	トイレ	車内
5	1	2	1	0
玄関	自宅	機能訓練室	屋外	和室
3	1	1	2	1

(発生時間帯)

朝迎え時 8:30~9:30	午前中 9:30~12:00	午後 12:00~15:45	夕送り時 15:45~16:45
1	7	8	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
90 歳女性	転倒	排泄後、立位を促しズボン下を上げる介助を行う時にバランスを崩し左前方に転倒。立位を促したが本人は何も把持していなかった。左眉上部を2cm切っており、看護師がすぐに止血。提供時間後に主治医が診察する。立位で車椅子や手すりの把持を促していなかったのが大きな要因。また介護時の介護者の位置も誤っていた。カンファレンスや自宅訪問後に、介助方法を統一。手すりの追加工事も後日実施した。
79 歳男性	転倒	帰宅時、デイ玄関で立ちながら靴を履こうとし、前方の椅子肘掛けを支えにしていたがバランスを崩し転倒。右脇腹部を肘掛けで打ち、ゆっくりと床タイル上に倒れ込む。靴下がかなり厚手で履きにくい事、普段が座って履くが立ったまま履こうとされた事、その瞬間に職員が玄関内にいなかった事が要因。主治医往診後、痛み止めで対応。

<9> 車両事故

物損(謝罪)	物損(補償)	自車のみ	対向車
0	0	4	0

<10> 苦情・相談・意見について

申し出人	意見概要	対応
M・H 氏 (長男)	「尿取りパッドが裏表になっていた。なぜそのようになっていたのか？」と電話連絡を受ける。	ケアを行った職員に事実確認後、相談員山下が訪問し話を伺う。「帰宅時に玄関からトイレ前までがおしっこで濡れてとても大変だった。」との事。職員は装着方法を把握していたが、装着時に間違ってしまった事をお詫びする。また連絡帳の記入内容の助言も頂いた。
T・T 氏 (長女)	デイ利用時の夕方、自宅で服を脱いだ時に体温計が入っていた。今回で6回目である。前回の時の返答は本人が挟んだかとも言われたが、本人が挟んだとは思えない。と担当ケアマネが連絡を受ける。	送迎時に娘さんに話を伺い謝罪を行う。バイタル測定は、朝、テーブル上に並べられた体温計や血圧計を自力で測定する事を促しているが、もしかしたら自分で挟んだかもしれない事、また今後は体温測定時に必ず職員が測り終えるまで付き添う。また体温計の本数は毎日数え、不足している時には徹底して探すようにする事を伝え了承された。
T・I 氏 (夫)	「先週迎えにきた職員はもう迎えにこないでほしい。」と担当ケアマネに連絡あり。	同日朝にケアマネが訪問。「上から目線でリハビリパンツを勧められた。急に家に上がって気分が悪かった」との事。夕方、相談員山下が訪問し、事実確認をする。職員の対応で気を悪くさせてしまった事の謝罪を行い、最近のデイでの様子や排泄失敗時の対応、今後のリハビリパンツの使用の話をし了承された。

(令和4年3月31日現在)

<11> 職員数

生活相談員	介護職員	看護職員	機能訓練指導員	事務員
1	7 (1)	2	1	1

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 7 名中「介護福祉士」有資格者 7 名

* 看護職員 2 名中「看護師」2 名

* 機能訓練指導員は作業療法士 1 名

令和4年度 事業報告

フラワーホーム ホームヘルプサービス

【総合的な目標】

新型コロナウイルス感染症と共生していくという、社会の変化の中で訪問介護の現場では、変わらず「持ち込まない」「拡げない」「持ち出さない」を基本に消毒と環境衛生に努めた。

また、家族・利用者の方にも感染対策の現状を理解・協力をして頂くために感染予防防止の為の案内文を令和3年度同様、定期的に発行した。十分な感染防止対策を前提として、利用者に対して必要な支援が継続的かつ安全に提供され、安心して在宅生活が利用者らしく営むことができるよう生活環境を整える支援を行った。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

利用者ケア

①残存機能を生かし、利用者らしく在宅生活が送れるよう支援をおこなった。

過剰介護にならないよう、できる事はして頂き声かけをしながら残存機能を引き出すよう心がけた。

②各利用者の個別援助計画の明確化

訪問開始前にケアプランに沿った、援助計画をたて初回訪問前に管理者が事前に訪問した。そのことによってご利用者の意向を聞き、訪問するヘルパーに周知することによって支援の統一化を図ることができた。

③コミュニケーションによる社会的孤独感の解消

1人であることが多い高齢者にとって、ヘルパー訪問が孤立感の解消につながっている場合もあるので、利用者に添ったコミュニケーションを大切にしたい。

④家族のレスパイトケア

身体介護・生活援助を通して家族の身体的・精神的な介護負担軽減を図ることを心がけた。

ご家族ともコミュニケーションをとることによって、困っている事や悩み等を聞き随時ケアマネージャー等に報告することができた。また、ターミナルのご利用者ご家族に対してのケアもヘルパー研修会で学び生かすことができた。

⑤多職種連携により利用者の変化等の早期発見

ミーティングや、ヘルパーの状況報告で変化等があった時は、家族や各事業所に対して迅速連絡した。遠方のご家族とも連絡を取り合い随時報告・相談等を行う事が出来た。

職員教育

①質の高いケアの提供

勉強会及びミーティングを計画的に開催した。勉強会では、対応を工夫しての成功例や失敗例、またヒヤリハット等介護事故予防につなげるための事例を挙げて、実務に役立てることができるよう意見交換を大切にしたい。また、支援中においての、接遇マナーの向上、言葉遣い、利用者の生活に添った介護技術の提供を行えるように定期的に研修を行なった。

人材確保

①お互い様という職場の環境作りを行い、ヘルパー1人1人にあった働き方を実施できた。

【収益的活動】

①現利用者の継続的利用と新規利用者の獲得

こちらから多職種との連携を積極的に行い、ご利用者の変化等密に連絡を取り合い、支援を行う事が出来た。新規利用者の受け入れについても、居宅介護支援事業所に随時、情報の提供を行い、柔軟に受け入れた。

【支出的活動】

備品購入の見直し、また、裏紙の使用やこまめな電源オフを心がけることができた。

【地域貢献活動】

①地域の高齢者のサポート等

近隣の方が話しかけやすい雰囲気づくりを行い、世間話などができるように努めた。挨拶等積極的に取り組んだ。

①地域の行事参加への連絡調整

年度当初、地域行事への参加等計画はしていたものの、コロナ感染拡大防止の為少なく、交流も少なかった。

月別要介護度別利用者数一覧表

令和5年5月 作成

サービスの種類	訪問介護
事業所名称	フラワーホーム ホームヘルプサービス

(1)延べ利用者数

(単位:人)

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護保険外 の利用者数	合計
4月	8	19	42	150	251	147	109	56		782
5月	7	20	54	140	293	147	98	73		832
6月	8	26	62	136	304	120	122	81		859
7月	8	24	53	152	323	126	116	86		888
8月	8	23	56	141	322	122	113	78		863
9月	8	24	51	136	291	114	110	86		820
10月	8	24	52	163	303	100	80	120		850
11月	5	25	52	180	249	117	70	147		845
12月	8	25	49	180	258	111	65	123		819
1月	7	22	56	154	274	94	65	96		768
2月	8	23	59	139	277	100	70	67		743
3月	8	25	60	156	363	219	200	57		1,088
合計	91	280	646	1,827	3,508	1,517	1,218	1,070		10,157

(2)実利用者数

(単位:人)

	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護保険外 の利用者数	合計
4月	1	4	7	20	17	8	9	3		69
5月	1	5	10	17	20	8	8	4		73
6月	1	6	9	18	23	7	10	4		78
7月	1	6	8	20	22	7	8	4		76
8月	1	6	9	21	21	7	7	4		76
9月	1	6	9	20	21	7	6	4		74
10月	1	6	9	23	21	7	5	5		77
11月	1	6	10	23	18	6	5	6		75
12月	1	6	10	25	19	6	4	5		76
1月	1	6	10	23	20	7	3	4		74
2月	1	6	10	22	21	7	3	3		73
3月	1	6	10	20	21	7	4	1		70
合計	12	69	111	252	244	84	72	47		891

令和4年度 行事および研修実績表

フラワーホーム ホームヘルプサービス

月	日	行事・研修	研修項目	研修内容
4	26	ヘルパーミーティング	接遇について	接遇マナー・言葉遣いについて
5	10 24	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	認知症の理解と対応について	認知症状の症状・対応について
6	7 21	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	調理のしかた	減塩調理・治療食・介護食について
7	12 26	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	食中毒について	調理時の注意点や食中毒についての理解
8	16	感染予防として紙面での情報共有	感染予防対策として中止	
9	27	感染予防として紙面での情報共有	感染予防対策として中止	
10	11 25	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	感染症予防(衛生とPPE)	新型コロナ感染症について 感染予防方法・訪問時の対応について
11	15 29	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	個人情報・プライバシーの保護	個人情報の取り扱いについて
12	13 20	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	高齢者虐待について BCPについて	高齢者虐待防止法に関する研修 BCP作成と内容の理解について
1	31	ヘルパーミーティング	褥瘡の理解と予防・スキンケア	褥瘡の知識、予防方法、スキンケア
2	14 28	ヘルパーミーティング ヘルパーミーティング	緊急時の対応について	心肺蘇生や意識障害の対応について
3	14 28	ヘルパーミーティング 高齢者虐待について	虐待防止について	訪問介護における虐待発見と虐待の芽チェックリスト

*外部研修については、今年度も新型コロナウイルス感染症の感染防止の為参加は控えた。

*新型コロナウイルスの感染予防で密になってしまうため、ヘルパーミーティングの実施が出来ない時もあった。
その際は、書面(個人情報の為配布は不可、ヘルパー室内にて掲示)にて連絡事項・利用者状況の報告・連絡等を行った。

令和4年度 事業報告書

フラワーホーム居宅介護支援事業所

【総合的な評価】

令和4年度は前年、前々年に引き続き新型コロナウイルス感染症の蔓延予防を行いながら在宅での生活の継続を最優先にした一年であった。また、介護支援専門員が1名入職し各介護支援専門員の担当件数が30名前後となった。このことによって、より御利用者様にとって身近な存在として迅速な対応や各事業所へ訪問が可能となり、他機関との連携もそれまで以上に良くなった。

令和4年度も霧島市ケアプラン点検事業において各介護支援専門員のサービス計画書に対して点検を受けた。当事業所においては霧島市の平均値より全体的に高く評価を頂いた。

収入面では令和3年度の実績に比べ減額となった。これは、例年以上に入院や施設入所が多く、更に新規利用者の相談は例年に比べ減少し、この2点が重なった事が要因と考えられる。病院に入院された方が入院先で症状が悪化し長期化し、そしてそのまま自宅に帰る事が出来ず施設に入所される方も多かった。

今後も在宅で生活をされている方々に対して日頃から体調不良予防や生活への困り事等、早めの気付きを大切にし、多職種との連携を丁寧に行い、ご本人の望む暮らしを大切に自分達の役割を果たしていく。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

- ・令和4年度は主任介護支援専門員3名 介護支援専門員2名体制での支援を行った。
- ・加算の条件である週1回の事例等の研修や他事業所を介護支援専門員の資質向上を目標に合同研修を行った。
- ・事例研究(検討)会を定期的を開催し、当法人だけではなく地域の他法人の介護支援専門員へも案内を行い多数の参加をして頂いた。

【収益活動】

- ・霧島市地域包括支援センターが開催している、あしたば会 みやま会の研修を定期的に参加し、霧島市内の介護支援専門員との連携を図る事が出来た。
- ・霧島市の居宅介護支援事業所や各病院のソーシャルワーカーや退院支援看護師との連携や訪問を継続して行った。

【支出的活動】

- ・新型コロナ禍の感染予防対策に必要な備品の購入。
- ・定期的な研修開催に伴う講師への謝礼金。
- ・鹿児島県介護支援専門員協議会への入会費用。

【地域貢献活動】

- ・コロナ禍により地域の行事も中止され、地域行事等に参加したりすることは出来なかった。
- ・事業所周辺等は常に清掃を心掛け、玄関前には四季の花作りを行った。
- ・毎朝、事業所前を掃除し地域の子供達や近隣住民への挨拶活動を実施した。

令和4年度研修報告書

フラワーホーム居宅介護支援事業所

内部研修		外部研修	
開催月日	研修内容	開催月日	研修内容
4月 5日 11日	【IDO 法定研修】倫理及び法令遵守 ・今年度の研修スケジュールについて ・ケアマネのやりがいとは・・・	4月21日	事例研究(第一回目)
5月 5日 11日 23日	【IDO 法定研修】基本接遇 ・ケアマネ法定研修更改ポイント ・ヤングケアラー支援について ・ケアマネジメント研修		
6月 2日 7日 14日 20日 28日	【IDO 法定研修】介護予防及び要介護度進行予防 ・感染症と脱水について ・高齢者虐待予防について ・【IDO 階層別研修】介護支援専門員研修 ・高齢者虐待と実事例について ・事例検討	6月15日 6月17日 6月28日	霧島市包括 あしたば会 事例研究(第二回目) 霧島市包括 みやま会
7月 5日 12日 20日	【IDO 法定研修】家族の心理的理解・ターミナルケア ・事例検討 ・プライバシー保護について ・個人情報保護の事例検討		
8月 3日 10日 16日 25日	【IDO 法定研修】事故発生又は再発防止 ・ターミナルケアについて ・日本総研動画 適切なケアマネジメント研修 動画視聴 ・介護リスクマネジメント ・ターミナルケア研修	8月26日	事例研究(第三回目)
9月 6日 19日 27日	【IDO 法定研修】認知症及び認知症ケア・医療的理解 ・稲盛和夫氏の人生から学ぶ事 ・相談援助職の基本姿勢と技術 ・目指すべき介護支援専門員像	9月14.15日 9月20日 9月27日	【霧島市介護度維持改善率向上 PFS事業に係る研修】 霧島市包括 みやま会 【介護事業者セミナー2022】
10月 6日 17日 24日	【IDO 法定研修】感染症、食中毒の予防及び蔓延防止 ・認知症の基本と対応研修 ・感染対策の基本と食中毒 ・集団指導の振り返りと確認	10月13日 10月19日 10月27日	霧島市 集団指導 霧島市包括 あしたば会 事例研究(第四回目)
11月 2日 15日 22日	【IDO 法定研修】精神的ケア・緊急時の対応研修 ・事例検討 ・マイナンバーカードについて ・精神的ケア ストレス対策		
12月 1日 7日 19日 28日	【IDO 法定研修】プライバシー保護の取り組み ・介護保険ソフトの変更と入力 ・事例検討 【IDO 階層別研修伝達】アセスメントについて ・介護保険ソフトの確認と内容について	12月16日 12月20日	事例研究(第五回目) 霧島市包括 みやま会

内部研修		外部研修	
開催月日	研修内容	開催月日	研修内容
1月 6日 11日 18日 30日	【IDO 法定研修】高齢者虐待防止法と虐待防止 ・12/16 事例研究の振り返り ・オープンダイアログについて ・ケアマネ自己チェックシート ・体調急変時の対応について		
2月 7日 15日	【IDO 法定研修】非常災害対策 ・事例検討 ・ケアプラン点検報告 2/15 地域ケア会議報告	2月17日 2月18日 2月22日	【鹿児島県重症難病医療ネットワーク研修】 「身寄り」がなくても安心して暮らせる共生のまち霧島キックオフミーティング 事例研究(第六回目)
3月 1日 14日 28日	【IDO 法定研修】身体拘束排除の取り組み ・BCP作成研修の伝達 ・ACP の基礎知識(地域、在宅) ・2/17 重症難病研修伝達	3月7日 3月15日 3月22日	キャラバンメイト連絡会 霧島市地域包括支援センター 介護支援専門員研修会 援助的コミュニケーション技術 霧島市包括 みやま会

令和4年度月別利用者実績人数

単位:人

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	5	17	45	40	17	10	6	140
5月	5	14	42	43	16	10	7	137
6月	5	14	45	46	14	11	6	141
7月	5	14	46	44	14	11	6	140
8月	4	15	47	43	14	11	5	139
9月	4	15	49	43	14	11	4	140
10月	4	15	49	42	16	10	6	142
11月	4	16	47	42	18	10	7	144
12月	4	16	50	43	16	11	6	146
1月	4	16	50	41	16	11	6	144
2月	5	16	49	41	18	10	4	143
3月	5	16	49	42	16	9	4	141
合計	54	184	568	510	189	125	67	1697

令和4年度居宅介護支援月別状況

単位:人

	新規	入院	入所	死亡
4月	1	3	2	0
5月	3	7	1	2
6月	4	2	1	0
7月	6	1	1	1
8月	3	5	1	0
9月	4	3	1	1
10月	0	5	0	1
11月	6	5	1	2
12月	3	6	2	1
1月	2	9	4	2
2月	2	5	2	0
3月	3	3	1	2
合計	37	54	17	12
月平均	3.1	4.5	1.4	1.0

令和4年度 事業報告

霧島市地域包括支援センター溝辺支所

【総合的な目標の総括】

令和4年度は、相談実績が156件あり、介護保険やサービス、施設についての相談に関するものが87件であった。その内37件は介護保険申請を行い、必要な支援へ繋げている。相談対応に伴う訪問や状態把握が必要な方の訪問を543件行っている。高齢者虐待や困難事例として3件の個別地域ケア会議を開催した。警察が介入し医療保護入院の支援を行う事例もあった。

高齢者に留まらず、障害者や子供など世代を超え世帯単位での支援が必要な世帯や65歳以下の単身世帯の相談、生活困窮に対する相談もあった。法人が加盟しているおもしろいネットワークを活用し、食料の現物支給を行った。

平成30年度より旧市町村単位で開催してきた家族介護者交流会は、R4年度はコロナウイルス感染症の状況をみながらの開催となり、11/14霧島市全体としてシビックセンターにて行い、17名の参加があった。

介護保険事業者やライフサポートワーカーとの顔の見える関係作りが行えるように連携を図っていききたいと思う。

民生委員との連携については、定例会を通じて顔の見える関係作りや情報交換を行っており、民生委員からの相談があり相談件数も増えてきている。今後も民生委員との連携を図っていききたい。

資質向上に関しては、業務連絡会やオンラインでの外部研修に参加することで、知識向上を図った。

令和4年度 行事及び研修実績表

霧島市地域包括支援センター溝辺支所

月	日	行事	日	内部研修	日	外部研修
4	15	包括業務連絡会	14	事業所情報連絡会		
	19	民生委員定例会				
	26	介護度維持改善率向上PFS事業、ケアプラン点検における面談				
5	12	サービスCケア会議	11	事業所情報連絡会		
	16	ワーキング				
	17	民生委員定例会				
	20	包括業務連絡会				
	26	関係法人連絡会				
6	6	ワーキング	3 9 14 20 23	理事会 事業所情報連絡会 法人IDO研修 法人研修 評議員会		
	14	民生委員定例会				
	17	ワーキング				
	28	みやま会				
7	15	包括業務連絡会	15 25	事業所情報連絡会 法人研修		
	20	民生委員定例会				
8	8	ワーキング	11	事業所情報連絡会	23	包括主催研修会
	16	民生委員定例会				
	19	包括業務連絡会				
	25	総合事業打ち合わせ				
	31	包括マニュアル作成1G				
9	13	民生委員定例会	9	事業所情報連絡会		
	16	包括業務連絡会				
	20	みやま会				
10	18	民生委員定例会	12 17 25	事業所情報連絡会 法人研修 職員研修会		
11	8	家族介護者交流会打ち合わせ	11	事業所情報連絡会	9	包括支援センター関係機関合同研修
	14	家族介護者交流会「このゆびとまれ」				
	15	民生委員定例会				
	18	包括業務連絡会				
12	13	民生委員定例会	9 13	事業所情報連絡会 法人IDO研修	20	県地域包括・在介研修(PM)
	16	包括業務連絡会				
	20	みやま会				
	23	個別地域ケア会議				
1	17	民生委員定例会				
	20	包括業務連絡会				
	23	運動・体操サロン				
2	8	CMミーティング	8 24	事業所情報連絡会 法人IDO研修	3	おもいやりネットワーク事業研修
	10	自立支援ケア会議打ち合わせ				
	13	運動・体操サロン				
	14	民生委員定例会				
	14	自立支援地域ケア会議				
	17	包括業務連絡会				
3	6	包括マニュアル作成1G	8 10 16	事業所情報連絡会 理事会 評議員会	1 15 16	介護予防従事者等研修 包括主催研修 適切なケアマネジメント手法普及推進セミナー
	14	民生委員定例会				
	17	包括業務連絡会				
	20	運動・体操サロン				
	22	みやま会				

令和 4 年度 事業報告

小規模多機能ホームふもとの家

【総合的な目標の総括】

令和 4 年度も事業所理念である三者の喜びをモットーに、安心できる家庭的な環境を提供し、ご利用者が住み慣れた家、地域で暮らし続けられことを大切に支援してきました。またコロナ渦であっても面会制限の緩和等ご家族との繋がりを大切にし、ご利用される皆様が笑顔になれるイベント等も可能な限り行ってきました。しかし年末年始にかけクラスターが発生し、ご利用者とそのご家族には多大なるご迷惑をお掛けしました。事業継続危機ではありましたが、他事業所等からの多くの応援、ご家族のご理解ご協力等により事業を継続できたことに感謝するとともに、「法人の繋がり」の大切さを強く感じる 1 年となりました。

【利用者ケア・職員教育・人材確保】

常にご利用者目線で担当職員が中心となり「～したい」の実現に取り組んできました。今年度は個別支援の充実を目的に月 2 回のカンファレンスを計画しましたが、年度前半のみの実施となってしまいました。皆が集まっての会議開催の難しさ、計画性のあり方や支援が重度な方へ偏りがちになってしまう等、いくつかの課題も残る一年となりました。また、職員教育・人材確保においては退職者 1 名、新入職 2 名でした。これまで通りコミュニケーションを大切にし、人事異動やコロナ発生時といった人員不足を感じる時期もありましたが、精神的・身体的に互いに支え合いピンチも乗り越えられる「団結力」を感じることもできました。

【収益的活動】

今年度は登録者定員 29 名に達することはなくマイナス補正を組む結果となりました。しかし前年度と比較し年間を通してみると月々の増減の差は小さく平均的に安定した収益を得ることが出来ました。包括報酬である為、収益には入院・入所、登録者数・平均介護度が大きく影響します。ご利用者と最期までお付き合いしていくことを大切にした結果、安定した収益を得ることが出来たのではないかと考えます。

【地域貢献活動】

地域交流事業「お茶ったもんせ」は 5 月に 1 回のみの実施となってしまいました。しかし、感染症予防により様々な活動を自粛している中においても照明保育園さんや他事業所との交流を図ることが出来ました。感染状況にもよりますが、運営推進会議等も上手く活用し地域貢献活動の場を増やす必要性を感じる 1 年となりました。

令和4年度 月別介護度別利用実績一覧表

小規模多機能ホームふもとの家

延べ利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	30	42	180	184	60	177	60	733
5月	31	44	191	189	62	179	62	758
6月	30	43	180	187	60	148	60	708
7月	31	44	164	187	62	120	62	670
8月	31	48	127	212	62	112	62	654
9月	37	52	156	211	60	115	60	691
10月	40	45	162	190	62	119	62	680
11月	23	47	153	178	60	116	60	637
12月	31	49	130	238	62	93	85	688
1月	31	52	118	227	62	31	140	661
2月	27	48	90	161	76	0	138	540
3月	31	42	90	180	85	0	151	579
合計	373	556	1741	2344	773	1210	1002	7999

実利用者数

単位：人

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	1	2	8	7	2	6	2	28
5月	1	2	8	7	2	6	2	28
6月	1	2	8	8	2	6	2	29
7月	1	2	8	7	2	4	2	26
8月	1	2	7	8	2	4	2	26
9月	2	2	7	8	2	4	2	27
10月	2	2	7	8	2	4	2	27
11月	1	2	7	7	2	4	2	25
12月	1	2	6	9	2	3	3	26
1月	1	2	6	9	2	1	5	26
2月	1	2	5	9	3	0	6	26
3月	1	2	5	9	3	0	5	25
合計	14	24	82	96	26	42	35	319

令和4年度 行事及び研修実績表

小規模多機能ホームふもとの家

月	日	行事	内部研修	外部研修	来園者
4	8	保育園のパレード見学	4/25「小規模多機能型居宅介護について」	4/1 IDOオンラインセミナー「倫理及び法令遵守」	照明保育園
	10	ドライブ・刺身ふるまい		4/22 IDOオンラインセミナー「おもてなし接客(1)」	ボランティア
	16	誕生会			
	27	お茶ったもんせ			
	30	芋の苗植え			
5	3	ドライブ・刺身ふるまい	5/25「基本的な介護技術に関する研修」	5/1 IDOオンラインセミナー「基本接客」	
	4	おやつ作り(白玉団子)		5/27 IDOオンラインセミナー「お悩み解決！グループスーパビジョン」	
	5	トマト・きゅうりの苗植え			
	14	誕生会			
	16	お菓子作り(ホットケーキ)			
	19	ちまきつくり・玉ねぎ収穫			
	23	お茶ったもんせ			
	27	バラ園ドライブ			
6	2	グランドゴルフ	6/27「認知症及び認知症ケアに関する研修」	6/1 IDOオンラインセミナー「介護予防及び要介護度進行予防」	
	4	ラッキョウ収穫・ドライブ		6/24 IDOオンラインセミナー「ケアに関する記録の在り方」	
	6	梅ちぎり			
	12	ドライブ			
	13	お菓子作り(おからドーナツ)			
	15	芋の苗植え			
	17	しそちぎり・大豆の苗植え			
	27	誕生会			
7	7	椅子のペンキ塗り	7/25「身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修」	7/1 IDOオンラインセミナー「家族の心理的理解」	
	11	かき氷作り		7/15 IDOオンラインセミナー「ターミナルケア」	
	15	ふくれ菓子作り		7/22 IDOオンラインセミナー「お悩み解決！グループスーパビジョン」	
	25	誕生会・ブルーベリー収穫			
	31	しそちぎり			
8	1	しそジュース作り	8/25「利用者の尊厳の実践的展開に関する研修」	8/1 IDOオンラインセミナー「事故発生又は再発防止」	
	7	屋外にてそうめん流し		8/26 IDOオンラインセミナー「おもてなし接客(2)」	
	11	茶話会			
	18	栗拾い			
	29	誕生会			
9	30	そば植え	9/26「介護記録の書き方に関する研修」	9/1 IDOオンラインセミナー「認知症及び認知症ケア」	
	9	花火大会		9/15 IDOオンラインセミナー「医療的理解」	
	10	団子作り		9/23 IDOオンラインセミナー「お悩み解決！グループスーパビジョン」	
	11	ドライブ			
	15	芋掘り			
	18	誕生会			
	23	敬老会			
10	29	味噌作り	10/25「食事や嚥下に関する研修」	10/1 IDOオンラインセミナー「感染症・食中毒の予防及び蔓延防止」	
	2	茶話会		10/28 IDOオンラインセミナー「ハラスメントの基本的理解」	
	6	野菜の種まき			
	15	かるかん作り			
	22	コスモス見学			
	23	お菓子作り			
	24	味噌作り			
	25	運動会			
	27	ドライブ(かかし見学)			
	31	誕生会			
11	2	花植え	11/25「非常災害時の対応に関する研修」	11/1 IDOオンラインセミナー「精神的ケア(心の仕組みとストレス対策)」	
	10	グランドゴルフ		11/15 IDOオンラインセミナー「緊急時の対応に関する研修」	
	14	玉葱苗植え		11/25 IDOオンラインセミナー「お悩み解決！グループスーパビジョン」	
	18	こんにやく作り			
	19	お好み焼き作り			
	21	誕生会・しめ縄つくり			
	22	味噌作り			
12	25	そば刈り見学	12/27「感染症及び食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修」	12/1 IDOオンラインセミナー「緊急時の対応に関する研修」	照明保育園
	10	金柑ちぎり		12/23 IDOオンラインセミナー「ストレスケアを身につける」	
	14	照明寺保育園お遊戯会見学			
	23	クリスマス会			
1	24	門松作り	1/25「プライバシー保護の取り組みに関する研修」	1/1 IDOオンラインセミナー「高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止」	
	17	漬物作り		1/27 IDOオンラインセミナー「お悩み解決！グループスーパビジョン」	
2	24	誕生会	2/24「事故発生等緊急時の対応に関する研修」	2/1 IDOオンラインセミナー「非常災害対策」	
	3	豆まき		2/24 IDOオンラインセミナー「怒りや悲しみの対処法」	
3	5	ドライブ	3/26「身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修」		
	11	カライモ飴作り			
	13	甘酒作り			
	16	グランドゴルフ			
	17	高菜漬け			
	1	じゃが芋植え		3/1 IDOオンラインセミナー「身体拘束の排除の為の取り組み」	
	3	ひな祭り		3/24 IDOオンラインセミナー「お悩み解決！グループスーパビジョン」	
	4	里芋植え			
	8	花の種植え			
	14	ホットケーキ作り			
3	19	ぼたもち作り	3/26「身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修」		
	25	桜花見			
	27	桜・花見			
	28	ドライブ			
	29	ドライブ			
	30	誕生会			

令和 4 年度統計資料及び添付資料

小規模多機能ホームふもとの家

<1>利用者の出身市町村別、年齢別の状況

(令和 5 年 3 月 31 日現在の住所地)

年齢 住所地	性別	65 歳 ～ 69 歳	70 歳 ～ 74 歳	75 歳 ～ 79 歳	80 歳 ～ 84 歳	85 歳 ～ 89 歳	90 歳 ～ 94 歳	95 歳 ～ 99 歳	100 歳 以上	計	合計
溝辺町	男	0	1	1	0	2	1	0	0	5	19
	女	1	1	2	2	1	6	1	0	14	
隼人町	女	0	0	0	0	0	1	1	0	2	2
横川町	男	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2
	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	
牧園町	男	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1
福山町	女	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1
計		1	2	3	3	3	11	2	0	25	
平均年齢				最高年齢				最少年齢			
86.2 歳				95 歳 1 月				68 歳 4 月			
男性(平均)		女性(平均)		男性(最高)		女性(最高)		男性(最少)		女性(最少)	
84.8 歳		86.8 歳		92 歳 3 月		95 歳 1 月		74 歳 1 月		68 歳 4 月	

<2>施設利用状況

事業所名		ふもとの家	
月	登録定員	登録者数	稼働率
4 月	29	28	96.5%
5 月	29	28	96.5%
6 月	29	29	100%
7 月	29	26	89.6%
8 月	29	26	89.6%
9 月	29	27	93.1%
10 月	29	27	93.1%
11 月	29	25	79.3%
12 月	29	26	89.6%
1 月	29	26	89.6%
2 月	29	26	89.6%
3 月	29	25	79.3%
合計	348	319	91.6%

*小数第 2 位以下切り捨て

<3>介護度の状況

(令和5年3月31日現在)

性別	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均介護度
男	1	1	1	2	1	0	1	7	1.96
女	0	1	4	7	2	0	4	18	2.79
計	1	2	5	9	3	0	5	25	2.32

<4>契約解除状況

	年齢	性別	退所日	退所理由
ふもとの家	89歳	女性	令和4年6月7日	死亡
	96歳	女性	令和4年6月25日	死亡
	78歳	男性	令和4年6月28日	入院
	81歳	女性	令和4年7月14日	入所
	85歳	男性	令和4年10月4日	入院
	78歳	男性	令和4年10月24日	入院
	94歳	女性	令和5年2月2日	死亡
【退所状況 集計】				
			退所者数	看取り件数
ふもとの家			7名	3名

<5>新規利用者状況

介護度	年齢	性別	登録日
介護1	84歳	女性	令和4年4月11日
介護2	92歳	女性	令和4年6月21日
介護1	91歳	女性	令和4年8月25日
介護2	81歳	女性	令和4年12月1日

<6>事故の状況

(種別)

転倒	転落	服薬ミス	皮膚剥離	打撲	誤飲	離園	その他
16	0	1	5	0	0	0	2

(発生場所)

ホール	畳部屋	居室	浴室	脱衣所	トイレ	屋外	その他
13	3	3	0	1	1	2	1

(発生時間帯)

深夜帯 0:00~4:00	早朝帯 4:00~8:00	午前中 8:00~12:00	午後 12:00~16:00	夕方 16:00~20:00	夜間 20:00~0:00
1	1	12	8	1	1

(重大事故)

対象者	事故種別	事故概要
87 歳 女性	窒息	令和 4 年 5 月 23 日地域交流活動当日。自力での食事摂取もしていたが食べこぼしも多くあり途中から介護サポーターが食事介助を行っていた。12:05 過ぎ N 様の様子がおかしいと報告あり。車椅子に座り涙目で声が出ず、顔面蒼白・口唇が暗紫色に変化し意識朦朧としている状況であった。窒息と判断。 看護師にて速やかに口腔内吸引実施。1 分程吸引を行い唾液様のもの多量吸引する。吸引を行いながら他職員に Dr 緊急コール依頼、医師往診要請。徐々に声が出て咳嗽反射が見られるようになる。口唇色が徐々にピンク色に戻り始め、窒息を解除できたと判断。バイタルサイン測定。呼吸 26 回／分、SPO2 95～97%。傍にいて医師の到着を待ちながら適宜口腔内吸引を行う。先に診療所看護師、次いで医師到着し診察頂き窒息が解除できたことを確認。点滴開始。痰吸引行いながら状態観察するよう指示あり。暫くして発声もあり呼吸状態平静となる。

<7>職員数

(令和 5 年 3 月 31 日現在)

管理者	計画作成担当者	看護職員	介護職員
1	1	1	9 (2)

* () 書きは、非常勤職員数を再掲

* 介護職員 9 名中「介護福祉士」有資格者 7 名

* 看護職員 1 名中「正看護師」1 名